

2012年5月22日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 市民の学び・活動・交流センターシビル

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

シビル市民講座 第19・20・21・22・23・24期

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

多摩地域の市民を対象の中心とし、歴史散歩や、社会・文化・歴史をめぐり、質の高い講座を継続して開催する。企画・運営等もにがいに行い、共に学び交流する。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

第19期 『韓国併合101年 -むと知りてい、考へにい』 2011年 6月6日・13日 (2回)
第20期 『家族、2人だぞ? -笑を返せる試み』 7月9日～10月8日 (4回)
第21期・22期・24期 『歴史散歩 玉川上水・狭山丘陵・国分寺崖線』 2012年 7月30日・10月30日・3月18日 (各1回)
第23期 『死刑について考へてみよう』 11月26日～2012年2月18日 (6回)

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ① 継続性・第19期は補講的のものごまのレポートはなにか?とごまのレポートを作成し、19・20・23期は毎日ハガキニュースと受講者へ送る。
- ② テーマ・講師の的選定・歴史散歩の講師はこの道の一人者に継続に担当してもらい、各講座ともにスタッフ陣を形成し、企画・交渉・運営を担った。
・第20・23期では即言的スタッフを獲得し、最高の講座内容を目標とした。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

- ① 延べ約250人の受講を得たが、当初目標としていた韓国ツアーは実現できなかった。
- ② 「死刑」講座についての補講的のものごま、という声が出たが、講師候補の都合及びスタッフの急切れでまだ実現していない。
- ③ 講座終了後のレポート作りは、その段階ごまごま、そして会員への広報としても大切だと実感している。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

才19期 イコンフェス



才20期 才1回 2011.7.9



才23期 才2回 2011.12.10 田鎖麻衣子せん



才23期 才3回 田雲海せん 2011.12.23

